



Ferris University

2010 No.8

フェリス女学院大学同窓会会報



フェリスホール パイプオルガン

《聖句》

「互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。」

ヨハネによる福音書 15章17節

あるエッセイ集

学院理事長 小塩 節



同窓会報には少しそぐわないかもしれないかもしれませんが、「たより」として心からの一筆、強いお求めに応じて申し上げます。

此の春四月の半ば、軽井沢で九十六歳の堀多恵子さんが亡くなりました。軽井沢追分の教会での葬儀は遺言により、フェリス女学院評議員を長くおとめくださったエッセイストの太田愛人牧師が、横浜から駆けつけてすべてを執りしきってくださいました。亡くなる直前にエッセイ集『雑木林のなかで』上梓（槐書房）。いくつもの本と同じく、この作品も実に静かで美しい。人ひとりの生涯と文とが、亡き作家堀辰雄や、同時代の作家詩人たちの想い出、信州の自然の美しさや驚きと渾然たる一体となり、おだやかな作品に結晶しているのに、感嘆します。九十六年という長寿とともに、このようなエッセイ集をもその生涯の終了直前に出版するということ、これを見事というほかはありません。

みずならや唐松の一本一本のたたずまい

も、それらの林の姿も、さりげないようでいてとても正確。人についても国内外の地名や史的事実についても、しっかりとウラがとれていて一点の狂いも誤りもない。それでいてりきみというものがいっさになく、対象を愛のまなざしと筆でおだやかに描き出しています。これは凡手のかなうところではない、と溜息が出るだけではない。真に慰めの書です。

とげとげしい、とんがった文章が多い現代日本の出版物の洪水のなかで、こういう慰めの深い書が世に出ることは（他にも、いくつもの、何人もいらっしやるでしょうが）、わが日本の言霊の世界は、政治や経済の苦悩と無関係ではないけれども、まだまだ捨てたものではないな、と思うのです。堀辰雄・多恵子夫妻は重い病気を抱えていました。夫君を早く天に送ったあと夫人はその遺した作品と家を守り、最晩年の十年は家を文化財保護のため蔵書家具とともに軽井沢町に記念館として寄附し、みずならの林の中に小さく暖かい家を建てて独居。その生涯と本書を含むいくつもの作品の中で、使徒パウロが言っているように「弱い中で強い」、福音の静かな証しを果たしていききました。

私も、どんなに辛い時があろうとも、「弱い時に、弱い中で強い」フェリス人たるうではありませんか。本当は強いんですよ。

「創立一四〇周年に」

学院長 岡野 昌雄



フェリス女学院は今年創立一四〇周年を迎えました。日本で一番古い女子校です。創立八〇周年のとき専門学校が廃止されて短期大学に、一九六五年に大学が始まっていますので、いわゆる短大・大学だけを見ると新しいように見えますが、どこからどこまでという切れ目がなく、一つになつていくのが伝統ではないかと思えます。じっさい、一四〇年と言

いながら、その間ずっと居続けた人はいないわけで、学生・教職員も毎年入れ替わっています。校舎も建て替えられ、創立時のものは一つもありません。それでもフェリスは同じ一本の樹木のように生きて来ました。それぞれ異なった時期にフェリスに関わっても、いつもフェリスらしい何か共通の経験あるいは雰囲気のようなものが感じられるのではないのでしょうか。

わたしはフェリスに来て八年目、来年三月には退任しますので、短い年月かもしれ

ませんが、伝統の不思議をしみじみ実感しています。大学で短期間講義を担当した以外は、礼拝や式典で学生に接するだけですが、卒業生の人たちと接する機会が多かったせいか、フェリスらしさというものを強く感じました。木はその実によって知られると言われるように、学院で学んだあと社会へと巣立つて行った人たちの活動を見ることよって、フェリスがどういう学校なのか、よくわかったように思います。目には見えなくても、創立以来続いているキリスト教信仰に基づく教育という太い筋に支えられて、女子だけの環境の中で自ずと育成されるたくましさとおおらかさのようなものです。

過去がどんなに立派でも、夢と幻、将来への希望がなければ、わたしたちは生きられません。将来へとつながるからこそ伝統は輝くののだと思います。そうでなければ、ただ古いものを愛でる骨董趣味になつてしまいます。創立者に与えられた大きな夢と幻、それを継承して学院がこれまでそうであつたように、これから輝き続けてほしいと願っています。

そんな思いを一つにできる機会として、二月一八日には、中高・大学の在校生、同窓生、教職員、さらには奨学会の人たちが一堂に会して全学院でクリスマスをお祝いしたいと計画しています。皆さんの参加をお待ちしています。

新たな歴史の風景に

—フェリス女学院
創立一四〇周年に寄せて—

学長 宮坂 覺



同窓会の皆様には、日ごろからお世話になり、衷心より感謝申し上げます。特に、6月1日の創立記念日のコミュニケーション発信には大変お世話になりました。大学、校友会、奨学会とともに名を連ねて頂きました。一五〇周年、二〇〇周年に向け、フェリス女学院大学の新たな姿の緩やかな第一歩になればと思っています。

近年、歴史性とか、物語性とかが静かに話題になっていきます。時代が閉塞気味だからでしょうか。一九七〇年代後半から八〇年代にかけて、《ルート・ローズ》が、社会現象になったこともあり、人は、未来に行き詰まったり、不安になったりした時、ルート（roots）、すなわち、この起原、由来検証に向かいます。原点探究といっているでしょう。近年の文化的風景は、このことと無関係ではないと思います。

現代における歴史的感性と鳥瞰（俯瞰）的感性の欠如に触れ、書いたり発言したりしてきましたが、歴史性や物語性が話題になるのは、これらの感性欠如が背景にあると思っています。「だれでもない」「だれでもよかった」「だれでもよかった」という言辭は

状況の深刻さを物語ります。歴史性や物語性が話題にされたのは、自分の居場所、立ち姿が不透明になっていることに自覚的になったからでしょうか。歴史的感性とは、いうまでもなく、「私はどこから来て、どこに向かおうとしているか」と時間性の中で問う感性です。鳥瞰（俯瞰）的感性とは、時代の中で他者Othersとの真の関係を見出す感性です。いわば、自分の人生の縦糸と横糸です。これらがなければ、自分の人生の物語は紡ぐことはできません。自分の真の居場所や立ち姿を見ることはできません。近年は、間断なき時代の変化にタイトで余白のない生活を強いられました。強いられています。実際そうしなければ、社会に置きざりにされるような不安も確かあります。その意味では、いま、歴史性や物語性が問われることは、心の復権、人間性の回復とも言えます。

私たちがかわるフェリス女学院は、一四〇周年を迎えました。フェリスが行き詰まっているとか、不透明というわけではありません。しかし、社会は病んでいます。だから、この機会に、歴史性や物語性を真摯に受け止めたいと思います。一四〇年前に想像を絶する困難な状況の中で事業を始めたキタ一女史に思いを馳せます。フェリスに流れる「日々新たな日」（コリント第一4:16、18）の精神に、モットーである「For Others: 他者のために、他者と共に」に思いを馳せます。縦糸と横糸とその物語を紡ぎ決定的に支えつつあるもの一つの見えざる手に思いを馳せます。フェリス女学院創立一四〇周年に遭遇できた幸運の重さを、皆さんとともに共有したいと思えます。

創立一四〇周年記念クリスマス

学院創立一四〇周年を記念して、中高、大学の生徒・学生、父母、学院教職員、同窓生等の学院関係者一同が参加するクリスマス集いの開催いたします。中高、大学の聖歌隊、ハンドベルそれぞれの演奏もあり、参加者全員がともに祝うプログラムです。

日時…2010年12月18日(土)10:30~12:00
場所…パシフィコ横浜 国立大ホール
*JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅より徒歩12分、みなとみらい線「みなとみらい」駅より徒歩3分

「学院をお支えくださる皆様へ」

新しい規約のもと、個人会員の中に年会費二、〇〇〇円からご入会いただける「普通会員」を設け、会員証の一斉更新を行いました。寄付金と区別した会費の趣旨にもご賛同いただき、会員数は初めて三、〇〇〇名を超えました。今後も、学院の教育理念をできるだけ多くの方々にご理解いただくために、「ご支援くださる方々とのコミュニケーションを深める工夫を続けていきたいと思えます。」

◆二〇〇九年度実績のご報告

厳しい社会情勢にも関わらず、在学生保証人同窓会、奨学会、会員のみならずから幅広いご支持をいただき、寄付金は前年度を上回る結果となりました。改めて厚く御礼申し上げます。ご協力いただいた寄付金は、大学キャンパス施設設備拡充の将来計画実現に向けて、「第2号基本金引当資産」に積み立てております。
●二〇〇九年度寄付金実績額：
二二、一三四、九二二円

事前申し込みが必要です。

申し込み窓口は各同窓会となります（電話での受け付けのみとなります）

申し込みをされた方には、各同窓会より入場に必要な「招待状」をお送りいたします。「招待状」は当日必ずお持ちください。



（大学部会 五、九六一、三九六円）
（中高部会 一七、一七三、五一六円）

- 二〇〇九年度目標達成率…五十七・八%
- 会員数…三、一七五名（二〇一〇年三月末現在）
- 二〇一〇年三月末現在大学部会積立残高累計…三三、四五七、九六四円

また、同窓会、教職員のご協力により、山手10号館見学会（9月19日㊥）、小塩先生とクリスマスを歌う会（12月1日㊤）、男性のためのお料理教室（2月27日㊤）、Fグループ主催「ハートフルコンサート」（3月20日㊤）を共催し、ご来場のお客様から、参加費、ご寄付にご協力をいただきました。維持協力会員、同窓会の方々と交流の場をもつことができたことは大きな収穫です。ご関心をお寄せくださる方の輪が広がることが願っています。

【お問い合わせ・資料請求先】

フェリス女学院本部事務局
総合業務課 維持協力会担当
TEL: 〇四五一六六一・四五一
FAX: 〇四五一六六一・四六三〇
e-mail: hsoumu@ferris.ac.jp
学院HP: http://www.ferris.jp

Fグループ・りてら・りべるて 合同総会

2010年4月29日・フェリスホールにて



第八回合同総会は、新緑の美しい山手フェリスホールに於いて、約二〇〇名の会員をお迎えして開催いたしました。

今回は、大学礼拝に学生の皆様と共に参加させていただきました。大
学宗教主任廣石望先生の司式により
礼拝は行われました。「ヨハネによ
る福音書」15章1〜10節を朗読し、
「私につながっていないさい」と題し
てお話をされました。学生時代を懐
かしく思い出された方も多かったこ
とでしょう。

次に同窓会を代表し、りべるて金
子会長よりご挨拶がありました。今
春も五六九名の新会員をお迎えした
喜びと、本年、創立一四〇周年を迎
えた学院主催の「フェリス女学院創
立一四〇周年クリスマス」に、同窓
会も参加させていただく事、そして
同窓会は常に時代を見据えた活動を
して行くので、皆様のご協力をお願
いする旨、話されました。

ご来賓の宮坂覚学長は、学院創立一
四〇周年の今年、大学としては平和・
女性・環境を柱にしたコミュニケを朝
日新聞(6/1朝刊)に全面広告とし
て発表するとのお話をされました。

岡野昌雄学院長は、私共に先ず「
おかえりなさい」との温かい呼びか
けからご挨拶され、十二月十八日パ
シフィコ横浜国立大ホールで行う学
院主催のクリスマス礼拝についてお

話をされました。

また、渡辺浪三文学部長、江上幸子
国際交流学部長、藏田雅之音楽学部長
にご出席いただきました。学院より、
小松田貞利事務局長、秋山信義大学事
務部長にご出席いただきました。

続いて、音楽学部新卒業生によるフ
ルート独奏
と、ピアノ独
奏をお聞き
しました。

懐かしい
校歌を歌い、
記念撮影を
して、フェリ
スホールを後
に、それぞ
れの会場で
個別総会を
開きました。

二〇一
一
年合同総会
は、四月二
十九日(金・
祝)、山手で
行う予定で
おります。

どうぞ皆
様お誘い合
わせの上ご出席
くださいま
す、お願い
いたします。

院主催のクリスマス礼拝についてお



Fグループ総会

4月29日、本年は山手キャンパス・フェリスホールにて合同総会、そして12号館3階大会議室にて蔵田雅之音楽学部長をお迎えてのFグループ総会となりました。本年度はまず、選挙管理委員会より大谷前会長の会長任期満了に伴い、2010年3月4日に学年幹事会で行なわれた会長選挙の結果報告と会長交代式が執り行われ、続いて熊本新会長より会長就任挨拶、4つの地方支部への支援とフェリスの音楽を盛り立てていきたいとの挨拶がありました。また、宮坂寛次学長、秋山信義事務部長、伊藤悦子山手事務部長よりご挨拶を頂き、その後、09年度会計報告、会計監査報告、10年度予算(案)、09年度活動報告、10年度活動予定が報告され、それぞれ承認され、ついで各支部長より活動報告がなされました。

また授業日でもあったこの日、授業の合間に土屋広次郎先生にもご出席いただき、ご挨拶をいただきました。最後に蔵田音楽学部長より、日頃の学部への支援を感謝するお言葉と、本年度秋開催予定の「山手の丘音楽コンクール」のお話をいただき、閉会となりました。フェリスホールでの合同総会ということもあり、たくさんのFグループの会員の皆さまにご出席いただき、和やかな総会となりました。本年度も皆さまのFグループへのご参加を心からお待ちしております。(報告 吉田牧子・55回)



第26回 りてら総会

4月29日(木)、フェリスホールでの全体総会の終了後、ホール階のリハーサル室において、第26回りてら総会が開催されました。66名のご参加をいただき、サンドイッチを召し上がっていただきながら、和やかな雰囲気、宇佐見副会長の進行で総会が始まりました。

3年間ご尽力くださった役員方のごあいさつ、2009年度事業報告・会計決算報告、次に新役員の紹介、ごあいさつ、新役員達が目指すこれからのりてらについての具体的な方向が示されました。続いて2010年度の事業計画・会計予算報告がありました。

しばし自由にご歓談の後に、宮坂学長、渡辺文学部長、秋山事務部長のごあいさつをいただきました。シヨップからのお知らせの後、お配りしたフェリスシールによるプレゼント当選のお知らせがあり、会場が華やいだお声の満ちたところで閉会いたしました。(報告 羽田 明美・79J)



第21回 りべるて総会

4月29日(木)、家政科記念館において、りべるて総会が開催されました。

会長挨拶に続き、2009年度活動報告、決算報告、会計監査報告、活動計画案、予算案が審議、承認されました。

創立一四〇周年を迎えた本年、ご臨席の友井先生、宮坂学長、秋山事務部長のご挨拶の中にも、すばらしい建学の精神が、ゆるぎなく受け継がれて来た事を感じました。

宮坂先生が「フェリスで学んで良かったという気持ち、が、人生の励みになる」とお話下さった様に、私達同窓生がフェリスの想い出を心の癒しとして懐かしく感じるのには、フェリスの精神である「For Others」を通して他者への愛をお導き下さったからに他なりません。

役員を代表し会長からも「元氣な時もそうでない時も、行ってみたい」と思っている様、同窓会は門戸を開いておかなければいけない。そういう視点で活動を頑張って行きたい」とメッセージが伝えられました。

今年度の主席者は、委任状を含め、711名でした。感謝と共に報告致します。(報告 岩江眞理子・D51)



音楽学部新卒業生演奏

*フルート独奏

●尾高 尚忠作曲
フルート協奏曲op. 30 bより 第一楽章

田島 寛子
漆間 有紀

*ピアノ独奏

●R・シューマン作曲
交響的練習曲op. 13より 第12練習曲

山本紗英子



二〇〇九年度卒業式

同窓会では、今年、

●文学部 263名

●国際交流学部 182名

●音楽学部 104名

●大学院 20名

の卒業生をお迎えすることができました。



Fグループの皆さまへ

Fグループ会長 熊本美也子 (17回)



はじめてFグループ会報でご挨拶を申し上げます。

前任の大谷会長か

ら役目を引き継ぎ、責任の重さに身の引き締まる思いをいたしております。同窓生と母校のお役に立てるよう微力ながら精一杯務めさせていただきます。皆様の御指導、お力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

山手の丘音楽コンクールに向けて

音楽学部長 藏田 雅之



音楽学部は一四〇周年の今年、山手の丘音楽コンクールを開催いたします。

この会報がお手元に届くころには、予選に向けて事務局も準備に入っていることと思います。同窓会各支部のサポートをいただきこのコンクールが広く日本全国で予選開催できますことを心より御礼

2010年4月、Fグループは大学・大学院の卒業生116名を新会員に迎え、会員総数は約3,600名となりました。卒業回で言えば短期大学音楽科41回、大学音楽学部となりトータルで59回を数えます。フェリスの音楽の長い歩みを思う時、社会の中にあつて音楽という縦軸でいつも母校を支えられている喜びと感謝を感じずにはいられません。

Fグループでは毎春秋に「ジョイント・コンサート」「研修会」「ティータム・コンサート」の三つの企画をご案内しています。同封のチラシをご覧になり、どうぞフェリスの丘に足をお運び下さい。

申し上げます。

本年4月19日には、福岡日航ホテルチャペルにて、スプリングコンサートが開催されました。昨年に続いて同窓会九州支部29名による声楽アンサンブルにより、賛美歌や、ヘンデルのハレルヤが、宇内千晴先生のオルガンの響きにつて高らかに披露され、満員の会場から盛大な拍手がおくられました。

今後同窓生とのコラボレーションを密に活動をしていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

さらに12月には「フェリス女学院創立一四〇周年記念クリスマス」がパシフィコ横浜国立大ホールにて行われます。これには入場券が必要です。事前にFグループ事務局にお申し込みください。

これらの開催日にあわせてクラス会や友人との再会等を計画されたら楽しいのではないのでしょうか。

又、音楽学部主催「山手の丘音楽コンクール」の予選が8月末から全国で始まります。支部の皆様には準備段階から多大なご協力をいただき心より感謝いたしております。本部では「Fグループ賞」を設け、入賞者の演奏を称えたいと思っております。

フェリス女学院創立140周年記念
羽ばたこう あなたの未来へ

YOKOHAMA
山手の丘音楽コンクール

フェリス女学院大学フェリスホール
本選 2010年10月30日(土) | 開演: 夜楽部・フルート部門
11月3日(水) | ビデオ録画
予選 2010年8月(予定) | 全国予選会場: 東京会場
入賞者発表会 2010年11月10日(土) | 11日(日) | 録音会場: 東京会場(録音)

2009年度 音楽の贈り物

ジョイント・コンサート

09年9月23日 フェリスホール

お天気にも恵まれ、まだまだ夏の暑さが残るなか、ジョイント・コンサートは開催されました。

今回はチラシやチケットの雰囲気を一押し、ピアノと声楽の方々、6組の同窓生をお迎えしました。新卒生のソプラノの方の瑞々しい演唱で会が始まり、続く皆さまそれぞれ素敵な演奏を披露して下さいました。



それぞれの年代しか紡ぎ出せない音楽があり、そのどれも美しく、故に音楽の奥深さを感じるひとときは、弛まず勉強を続けることの大切さをつくづく感じさせられる心温まる演奏会となりました。

今年9月23日(木・祝) 15時開演です。山手フェリスホールまで是非皆様、足をお運びくださいませ。(担当 海野美栄・44回)

【09年度出演者】*新理恵(ピアノ独奏50回・院4回) *池浦もと子(ピアノ独奏51回・院5回) *町田信子(ソプラノ独唱18回) *梅原三代子(ピアノ伴奏28回) *柿本有衣(ソプラノ独唱56回・院10回) *小野直子(ピアノ伴奏56回) *丹野愛歩(ソプラノ

独唱58回・院在学中)・下條恵理子(ピアノ伴奏58回) *川越あさみ(クラリネット58回)・漆間有紀(ピアノ伴奏58回)

◆ジョイント・コンサート出演者募集

毎年9月開催予定のジョイント・コンサートはFグループ会員、音楽学部関係者であれば出演可能です。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。(書類選考あり)

今年度のテーマタイム・コンサートは、「11回生による楽興の時を求めて」と題し、ソプラノ下河邊宣子さん、三味線大谷園子さん、ピアノ藤村公子さんをお迎えし開催する予定でしたが、台風の上陸に伴いお客様と出演者の方々の安全を考慮し、中止となりました。ご来場予定の皆様にはご迷惑をおかけ致しました。(担当 清水千晴・52回)

研修会

09年11月24日 フェリスホール

昨年度のFグループ研修会は、世界でご活躍のピアニスト、ダルトン・ポールドウィン氏による「歌手とピアニストのための公開レッスン」を行いました。

受講生は大学院生から長く勉強を続けていらつしやる卒業生の方々まで幅広く、皆様とても丁寧な心のごもったドイツリートを演奏して下さいました。ポールドウィン先生もそれに応えるように、常に受講生に寄り添い、長きに渡る演奏活動で培



った豊富な知識とテクニックを惜しみなくご教授下さいました。参加した全ての皆様が先生の一言一句に耳を傾け、ホール内がひとつになつたようなとても充実した研修会となりました。

開催にあたりご協力頂きました全ての皆様、また丁寧な通訳と素晴らしい演奏もして頂きました大島富士子さん(28回)に心より感謝申し上げます。(担当 井上千佳子・44回)

♥ハートフルコンサート報告

10年3月20日(土)「感謝の春・ハートフルコンサート」中田喜直・杵屋正邦 恩師を偲んで」を、山手6号館606教室で開催しました。Fグループの大谷前会長と中田元会長の出演、そして学院のご配慮により実現しました。

プログラムは、中田幸子指揮のアンサンブル・フィオレットティによる女声合唱、杵屋花邦(大谷園子)と三花会、小輪瀬光代による三味線の演奏でした。珍しいプログラムでしたが大勢のボランティアに支えられ、フェリスらしいあたたかさに溢れる演奏会となりました。皆さまからお寄せいただいた15万円の募金は維持協力

会に寄付しました。ありがとうございました。(報告 金出地佳代・55回)

Fグループ会長選挙報告 会長に熊本也子さん(17回)が決定

去る3月4日(木)、フェリス女学院大学山手6号館632教室にて開催されました学年幹事会に於いて、任期満了に伴う会長選挙を実施致しました。会長候補は、推薦候補として熊本也子さんお一人でしたので、出席学年幹事全員による信任投票を行いました。

▼有効総数68票(出席28・委任40)▼信任68票以上の結果を持ちまして、Fグループの会則に従い、118名の過半数票をもって信任されました熊本也子さんに決定致しましたことを報告致します。

ご出席及び委任状をお送りくださいました、学年幹事の皆様のご協力によりお礼申し上げます。

●Fグループ選挙管理委員会
委員長・小島尚子(54回)
委員・川野とし子(8回)、篠原純子(14回) 四ツ倉 緑(18回)、平井桂子(33回)

Fグループ2010年度コンサートのご案内

ジョイント・コンサート

9月23日(木・祝) 15:00開演
於: フェリスホール ¥1,000

【出演者】
ヴァイオリン: 森田千草(59回)
声楽: 伊藤久加(37回)、乾ひろ子(48回)
ピアノソ: 増矢馨子(38回)、栗原明子(47回・院1回)
2台ピアノ: 池浦もと子・久保佐緒里(51回・院5回)
オルガン: 山口眞理子(57回)

研修会

～シューベルト作品のお話しと演奏～

10月29日(金) 17:00開演
於: フェリスホール ¥1,000
講師: 辛島輝治(ピアニスト)
出演: 辛島仔細子(ピアニスト)
芳野靖夫(バリトン)

ティータイム・コンサート

11月11日(木) 14:00開演
於: フェリス女学院大学山手6号館 ¥1,000
内容: カンテレ演奏
講師: 桑島実穂(28回)

《お問い合わせ・お申し込み》
Fグループ事務局(木曜日 10時～17時)
Tel & Fax: 045-681-6740

恩師を偲んで

青山三郎先生

岩元孝子 (21回)

青山三郎先生は若き日、フランスとスペインに留学し演奏者、又教育者として最後まで現役で、紀尾井ホールのリサイタル、弦楽器との共演等心に残ります。亡くなる三ヶ月間まで京都と名古屋でもレッスンされました。最後に病床で残された言葉です。「もったいないです。もっともっと学んで下さい。音楽を通して沢山のひとと触れ合い素晴らしい交流が持てた事を、心から有難く思い深く感謝します。最後に、音楽つてとってもロマンティックね」 二〇〇八・九・二二(逝去)

江口元子先生

原田敦子 (24回)

30年ぶりにお訪ねした時に私が縫った服を着て迎えて下さるような、やさしい心遣いをして下さる先生でした。レッスンの時も満面の笑顔でゆったり構えて、決して怒らず、本番前に自信無げな私をあの豪快な笑い声で励まして下さるのです。そして「声楽で大切なことは、心から楽しんで、自然体で歌うこと」と教えて下さいました。今も歌うたびに先生の声が心に響きます。先生の教えは私の生涯の宝です。どうぞ天国から見守っていて下さい。 二〇〇九・五・十一(逝去)

安藤友侯先生

根本正美 (33回)

初めてお会いした時モーツァルトなどを弾きまくって下さった事、1曲に3時間もかけたレッスンで2人共ヘトヘトになった事、少年の様に熱く車面番号について語ったり、江浪さん(奥様)へのラブレターの投函を青

年の様な表情で頼まれたことなど、美しく繊細な音楽と合わせて楽しく思い出されます。今頃は天国で更に美しい音楽をなさっている事でしょう。先生、私たちを見守っていて下さいね。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。 二〇〇九・九・六(逝去)

支部だより

北支部

玉田 幸子 (12回)

5月8日、雨の降る中でしたが、札幌バプテスト教会の礼拝堂には大勢の皆様がお出で下さいました。平松英子先生の美しいお声が会場いっぱい流れ、素晴らしいコンサートでした。私は初めてでしたが、たちまち平松先生のファンとなりました!! 近江先生の伴奏も平松先生のお声に寄り添って素敵でした。又、フェリスцьのお若い3人の演奏は、深刺として、とても愉しく聴かせて頂きました!! 私の友人達からもあの夜は次々に感動感激のメールが届きました。ここに、平松先生の快いご協力による心地よい演奏と同窓会本部のご助力のお陰を持ちまして、演奏会が盛会に終えました事を心から感謝致します。



中部支部

支部長 牛込 まり (25回)

昨年のふれっしゅは4名出演でした。得意とされている選曲で、プログラムも興味深い

ものになりました。ただ、推薦されていても出演できない方が多いのも現状です。良いホールでの演奏のチャンスを活かしていただけないのは本当に残念に思います。

秋のコンサートは黒川先生とのコラボでした。出演後や遠方の方も出てくださり、時間のない中で練習に励んで堂々と演奏してくださりました。



今年のふれっしゅは4名。秋のコンサートは黒川先生と藤村先生のチェロ・ソナタ、ヴァイオリンのデュオ、ピアノのソロ2名です。フェリスの先生とのコラボも定着してきました。フェリスを知っていたくチャンスになるよう願っています。

近畿・中国・四国支部

支部長 二見 伊都子 (18回)

4月16日、倉敷国際ホテルで総会を開きました。4月に入っていました。昨年度の活動と致します。参加者16名。出来るだけ会員の方々にミニコンサートに参加して頂ける様に企画致しました。冷たい雨が降りしきる中、会場内は日頃の成果が発揮され、パワフルなエネルギーに溢れていました。そしてご出席頂いた落合敦先生に「フェリスの現状」をお話頂きまして、即興演奏をご披露下さいまし



た。元氣と幸せな気持ちを持ち帰り皆、先生のファンになりました。今年の本部総会での留意事項ですが、山口県がより近い九州支部に属することになりました。同窓会等に参加され易くならないと思います。

九州支部

支部長 安波 裕子 (24回)

九州支部の活動も同窓会の輪が少しずつ広がり、参加者が増えてまいりました。昨年は大卒との共催で、藏田先生、土屋先生、堀先生、立神先生、九州ボーカルアンサンブル(フェリス卒業生有志)の演奏会を響ホール(約800席)で行い、大盛況でした。フェリス女学院の広報活動のお役に少しは立てたと思います。

《コンサート》

- 4/25 橋高先生、土屋先生ティータムコンサート(ホテル日航)
- 10/12 オータムコンサート in 九州(北九州市響ホール)

《学校訪問》

- 7/8 福岡の高校「10校」
- 9/7 北九州の高校「8校」

《訪問演奏》

- 7/14 ケアハウスくすの木の
- 7/22 久山療育園重症児者医療療育センター
- 12/22 デイサービスセンター であり

《フェリスグッズ作成、販売》

- サークル活動
- ハンドベル、料理(毎月1回)

2010年度は、支部長安波裕子、副支部長亀井直子、書記小串成美、榎田一与、会計三田留美子で運営してまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2009年度会計収支報告

<収入の部> (単位:円)

項目	予算額	決算額
終身会費	4,000,000	5,010,000
研修会会費	100,000	88,500
ティータム会費	30,000	0
ジョイント会費	280,000	140,500
宛名シール	15,000	35,360
雑収	50,000	182,132
小計	4,475,000	5,456,492
前年度繰越金	2,209,985	2,209,985
収入の部合計	6,684,985	7,666,477

<支出の部> (単位:円)

項目	予算額	決算額
(1) 運営費	1,690,000	1,442,955
会議費	30,000	16,750
印刷費	60,000	64,465
通信費	150,000	128,388
人件費	550,000	586,440
交際費	80,000	46,840
事務用品費	50,000	46,958
備品費	100,000	89,360
出張費	60,000	20,560
交通費	330,000	387,500
交際費	70,000	55,694
学費	70,000	55,694
特別委員会	10,000	0
予備費	200,000	200,000
(2) 活動費	3,200,000	2,396,438
総会関係費	600,000	532,878
研修会関係費	350,000	306,969
ティータム関係費	130,000	25,756
会報関係費	750,000	555,408
ジョイント関係費	320,000	146,777
リサイクル後援費	100,000	70,105
支部関係費	550,000	551,450
慶弔関係費	200,000	122,499
予備費	200,000	84,596
(3) 諸会費	370,000	350,000
連絡会維持費	70,000	50,000
維持協力会費	300,000	300,000
(4) 積立金	750,000	1,050,000
簿積立金	50,000	50,000
名簿積立金	700,000	1,000,000
(5) 予備費	674,985	150,000
支出合計	6,684,985	5,389,393
剰余金		2,277,084
支出の部合計	6,684,985	7,666,477

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。

Fグループ会計監査 中田 幸子 (印)
井上 眞記子 (印)

●フェリス女子学院大学音楽学部への募金箱についてのご報告
Fグループ催しの折、設置しております募金箱より計37,103円を10年1月26日、大学音楽学部へ送金しました。ご協力頂きありがとうございました。

Fグループ会報編集 白波瀬早百合 (36回)

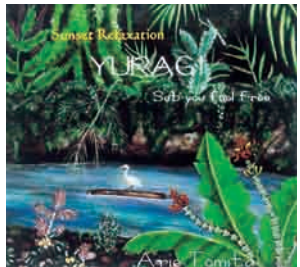
特に今回のリリースにあたっては、自身が音楽を通して何が出来るのか?を考え、地球温暖化:自然保護について、ボルネオ政府観光局とそのアーティスト(画家)の皆様との「絵画と音の世界」のコラボレーションとして、マレーシアの五つ星ホテルのスパ・リラクゼーションでの使用をきっかけとし、その売上の一部を自然保護にあててまいります。今、私たちが生かされていることへの感謝の気持ちが込み上げてまい

CDをリリースさせて戴けることとなりました。2人の子供と家事に追われる日々...、ヘトヘトになって寝つく時間から、漸く作品づくりが始まります。こうして僅かながらも進んでいく中で、様々な御縁を神様から授けていただいたように感じます。

皆様、こんにちは。前回、子育て奮闘中レコーディング風景を書かせて載せていただきまして、あれから早8年となるのでしょうか！
シンセサイザー・マニピュレーターとして作品づくりを続け、この度CDをリリースさせて戴けることとなりました。2人の子供と家事に追われる日々...、ヘトヘトになって寝つく時間から、漸く作品づくりが始まります。こうして僅かながらも進んでいく中で、様々な御縁を神様から授けていただいたように感じます。

卒業生だより

ります。人各々が神様から与えられた日常の試練を乗り越え、学び気付けてゆく先にある喜び。辛くても夢を諦めずにコツコツと続ける大切さ...。今こうして形になってきたことが、同じ主婦の皆様への励みになることを願います。最後になりましたが、今回のジャケットは、ボルネオのアーティストの方々、作品を聴き、描いて下さいました。環境や言語は異なっても、互いの心に響き合うことのできる音楽の力に、改めて深く感動を覚えるひとときでした。これからも、日々与えられる日常をこなし、自身の役目に向かって努力を続けてまいりたいと思っております。



新リリースのCDジャケット

戸簾(富田)有重 (36回)
楽理(音楽学)学科卒、同大学研究科卒、音楽学部副学を務める。ドイツ、イギリス、オーストラリア留学後、マニピュレーターとしてNHK、BS-CG、各種イベントの音色デザイン等(音楽)活動を展開している。

新役員紹介

- 会長 熊本美也子 (17回)
- 副会長 小林 周子 (29回)
- 書記 浜田 祐子 (31回)
- 書記 金出地佳代 (55回)
- 会計 吉田 牧子 (55回)
- 企画 桶瀬由佳理 (35回)
- 企画 佐々木淑子 (36回)
- 企画 中川佐和子 (25回)
- 企画 小濱 美穂 (42回)
- 企画 海野 美栄 (44回)
- 常任 近藤 令子 (23回)
- 常任 白波瀬早百合 (36回)
- 常任 星野 育子 (24回)
- 常任 土屋 友紀 (48回)
- 会計監査 大谷 園子 (11回)
- 事務局 木村あづさ (43回)
- 阿部 真季 (49回)
- 小西 和代 (22回)



学年幹事会

10年3月4日(木)山手6号館632教室
出席人数28名。09年度一般会計収支報告(仮)および会計監査報告、10年度一般会計収支予算(案)についての承認が行われ、各役員より09年度活動報告等がありました。また、次期会長選挙が遂行され、選挙管理委員会の厳正なる管理のもと熊本美也子氏(17回)が選出されました。会はお天気にも熊本美也子氏(17回)が選出されました。会はお天気にも熊本美也子氏(17回)が選出されました。会はお天気にも熊本美也子氏(17回)が選出されました。会はお天気にも熊本美也子氏(17回)が選出されました。

フェリス音楽教室

こどもたちとともに55年

毎週金・土曜日
音楽学部校舎で授業

<山手教室>
045-212-2396

<緑園教室>
045-813-1070

<http://www.ferrismusicinst.org>

おめでとうございます

土屋 友紀さん (48回・院3回)

第24回全国童謡歌唱コンクール
関東甲信越地区ブロック決勝大会
フアマリー部門最優秀賞

LUXIS「たちどまればいいさ」
合唱コンクール「特別賞」



ごあいさつ

会長 小澤 美智子 (70 J)



りてら会員の皆さま、お健やかに過ごしていらっしゃいますか。

今年度の役員改選により、会長に就任いたしました小澤美智子でございます。

1968年、同窓生45名の『りてら』が発足してから43年の時が流れました。

1983年6月、フェリス女学院同窓会『白菊会』の総会において、同窓会組織が再編され『りてら』は、短大英文科同窓会『Eクラブ』の皆さまとともに『大学同窓会りてら』として、会員数4,200余名で、再出発いたしました。私はその時、初代会長を務めさせていただきましたが、27年の時を経て、再び会長の任にあたるとは思っていませんでした。

微力ですがございますが、新しい役員と心を合わせて、努力を重ねてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

現在、りてらの会員は16,000名となりましたが、幹事会や総会へのご参加は20年前の四分の一、五分の一というのが現状でございます。会員の皆さまにも、もっともっと同窓会にも関心を寄せていただきたい、行事などにもご参加

いただきたい...と願ひ、新役員一同で「楽しい同窓会」を目指してまいります。

年代を超えた会員相互の親睦をはかるため、大学祭では「りてらカフェ」を開店し、同窓生による手作り品の展示即売会を、また「りてら小さな旅くらぶ」のメンバーを募集し、第一回は川喜多映画記念館見学を中心とした鎌倉散歩を企画しております。

また講演会、講習会も予定しておりますので、講師のご推薦やご要望などをお寄せくださいませ。

りてら独自の活動のほか、他同窓会の方々とも交流を深め、同窓生はもちろんのこと、学生のため、学院のためにお役に立てるように、大学同窓会全体で力を合わせてまいります。

皆さま、ご存知でしょうか。山手6号館隣の第一別館に、同窓生で運営されている学生食堂「カフェテラス・フェリス」があります。

主に、山手で学ぶ音楽学部の学生と教職員の方々にご利用いただいております。山手地区風致保全地域内のため、一般開放はしていませんが、同窓生の皆さまにはご利用いただけます。ランチに、クラス会に、ぜひご利用くださいませ。

これからも役員・事務担当一同、りてらの円滑な運営のために努力してまいりますので、会員の皆さまにご関心を持っていただき、ご協力をお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

お知らせ

●大学祭・手作り品展示即売会

今年は11月6日(土)・7日(日)に、大学祭が開催されます。

りてらでは緑園キャンパスで「りてらカフェ」を開店し、店内で「手作り品展示即売会」を実施し、収益を一〇〇周年の寄付とさせていただきます。

手作り品をご提供してくださる方を募集しております。

ご自慢の手作り品でご協力くださる方は、同窓会室までご連絡ください。こちらから詳しい資料をお送りいたします。

会期中に「りてらカフェ」のお手伝いくださる方も、あわせて募集いたします。こちらも、同窓会室までご連絡ください。

●りてら小さな旅くらぶ

日帰りで出かける、小さな旅を楽しむクラブの活動を始めます。

第一回は、11月25日(木)、川喜多映画記念館見学を中心に、鎌倉散歩を予定しております。

クラブに加入ご希望の方は、ハガキで同窓会室までお申し込みください。こちらから詳しい資料をお送りいたします。鎌倉散歩の後にも、クラブの皆さまともご相談し、活動を企画いたします予定でございます。

クラブの皆さまには、クラブ通信として活動報告や、ご案内をお届けする予定でございます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

新役員

本年度から就任いたしました、りてらの役員をご紹介します。

会 長	小澤美智子 (70 J)
副会長	羽田 明美 (79 J)
	宇佐見瑞枝 (85 J)
	木村 貴美 (85 J)
会 計	飯田 正子 (70 J)
	大胡 暁子 (70 J)
書 記	高間 美鈴 (61 E)
	中村 孝子 (84 E)
会計監査	佐々木陽子 (62 E)
	新井 澄子 (79 E)

任期は2013年3月末日までです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。





今大学がもっとも必要とするのは外部からの評価、それもどのようなブランド評価がなされているかという情報であろうと思います。たとえば日経BP社による結果によれば、有識者層や生徒・学生を家庭にもつ保護者において評価の高い項目は、「センスがよい」「一流感がある」「ステータスが高い」「知名度が高い」「伝統がある」「礼儀正しい」などです。

これに対して、高校生の評価は質問項目に違いがあるために単純な比較はできませんが、「伝統がある」という評価が特徴的です。全般的にみて、年齢が高い層からの評価には好意的なものが多いように感じますが、高校生との評価には少しばかり違いがあるようです。

ところで、社会で活躍されている年齢層の方と高校生の大学ブランド評価の背景には、現代の「大学生の日常」の認識に差異があるかもしれません。例えば、近年学生の授業への出席率が良くなってきております。

これは望ましいことですが、その裏側には私語と携帯という怪物も潜んでおります。

現在の携帯はメール機能が勝っており、このことによって学生は教室の外の空間と容易に、そして無限に繋がることが出来ます。3・4年生にもなると就職活動で企業との連絡を取り合うことも希ではありません。授業を忘れ、黙々と携帯メール、携帯ネットをやっている学生が散見される光景はいまや教室の日常と云ってよいでしょう。

さて、外部のブランド調査も必要ですが、大学には忘れてはならない貴重な情報源があるのです。それは同窓生の皆さまからの忌憚のない、率直なフェリスへの評価ということですね。日頃よりご寄付など経済的なご助力を頂くことが多いと思いますが、さらにご助力頂くべき事は、実は「評価」という情報であると考えます。

今年度はフェリス女学院創立一四〇周年にあたる記念すべき年でもあります。同窓生の皆さまからの率直なご意見を調査できる機会を作れるように方法を模索しております。しばし、時間を要するとは思いますが準備が整いましたら晩にはどうかご協力下さいませよう、早いようですが今からお願ひ申し上げます。

一四〇周年記念クリスマス礼拝

例年はカイパー記念講堂で、全同窓会によるクリスマス礼拝を行っていましたが、今年は学院が創立一四〇周年を迎え、生徒・学生と家族、教職員、同窓生が一堂に会しての礼拝を捧げます。

【日時】 12月18日(土) 10時30分より

【会場】 パンフィコ横浜 国立大ホール

横浜市西区みなとみらい1-1-1

※ご来場いただくには、招待状が必要になります。

事前に、りてら同窓会室までお申し込みください。

こちらから、招待状をお送りいたします。

より多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



同窓会室より

りてら同窓会室は、緑園キャンパスの正門から、生き生きと行き交う学生さんや緑多い風景を楽しみながら直進した、一番奥の建物・体育館の3階にあります。大学の春・夏・冬期休暇を除く、毎週火曜日・木曜日の午前10時から午後4時まで開室しております。

大きな窓のある明るい部屋で、会議や打ち合わせ、作業など役員をはじめ各係の皆さんが出入りしています。お問い合せや住所変更、フェリスグッズの注文などには、事務担当の方が対応しています。

年齢も環境もまったく異なる女性達ですが、同じ学び舎で過ごしたという共通点だけで和やかに打ち解け、同窓会のため、母校のためにと、心をひとつにして笑顔で活動されている、素敵な空間です。ぜひあなたも、ご参加くださいませ。

りてら 2009年度決算報告

(2009年4月1日～2010年3月31日)

●収入(円)

項目	決算
終身会費	15,180,630
預金利息	205,709
雑収入	76,730
小前年度繰越金	15,463,069
合 計	33,269,333
合 計	48,732,402

●支出(円)

項目	決算
事務用品費	24,161
印刷費	388,084
会報連費	3,619,599
総会費	1,369,341
連絡費	233,043
通数与	542,335
手数料	444,240
パソコン関連費	6,614
卒業記念品費	56,442
交際費	80,216
一学祭	685,725
大寄付(維持協力会)	307,683
小寄付(140周年記念)	32,600
雑費	8,641
小計	236,895
来年度繰越金	4,000,000
合 計	0
合 計	17,640
合 計	12,053,259
合 計	36,679,143
合 計	48,732,402

監査の結果、適正なものと認めます。

監査 坂井 久子 関 虫口 祥子

同窓生だより

鎌倉市川喜多映画記念館“誕生”

岡田 正代 (55 E)

ことし、フェリス女学院は、創立一四〇周年です。なんて素晴らしいことでしょう！

この大きな喜びの年が、私個人にとっても、この上なく意義深いものになりました。四月一日、ようやく、ようやく、鎌倉に川喜多映画記念館がオープンしたのです。

一九九三年七月、川喜多記念映画文化財団の創設者、川喜多かしこが他界し、姪の私が財団を引継ぎました。かしこは映画を深く愛し、映画には国や文化の違いを超えて人と人を結ぶ力があると信じて生き抜いたひとでした。

そして最後に、かしこは夢をひとつ、私たちに託して逝きました。

長年住み慣れた鎌倉・雪の下の自宅跡に、たとえ小さくても、映画文化の発信の場となるような施設を創ってほしい、というのが遺言でした。

幸い鎌倉市が、かしこのこの夢を理解し共感してくださって、土地家屋の寄贈を受け入れて



正面入口



映像資料室 (上映ホール)



展示室

「制服の処女」「赤と黒」「第三の男」等々で、こ
来館の方々にとても楽しんでいただけました。
この記念館は、世界の未来を担うことももち
に、映画の面白さ、素晴らしさを伝えることも
目指しています。七月から八月にかけては、
「夏休み子供企画」映画を知ろう・映画で遊ぼ
う」がテーマ。「赤い風船」「白い馬」「夏の庭
」ジャングル大帝」などの上映とともに、子供
のためのシナリオ作りワークショップを催し、
映画のことを学びつつ、映画を大好きになつて
くれるようにと願っています。

そして、八月中旬からは、「平和を祈る―映
画の中の戦争と平和」上映映画は、「ひめゆり
の塔」「父と暮らせば」「ノー・マンズ・ランド」
を予定しています。

開館当初から、記念館では、展示や映画の上
映だけでなく、その時々のテーマに沿って、
映画評論家の佐藤忠男さんや、字幕翻訳家の戸
田奈津子さんなどに講演をお願いしています
が、今回はもちろん、「ひめゆりの塔」の香川京
子さんです。きっと心に強く響くお話をしてく
ださること期待しています。秋には、「鎌倉の
映画人・小津安二郎の世界」、十二月には、「愛
の日・クリスマス」と続きます。

情報資料室も、ぜひご紹介させ
てください。ネーミングは物々
しいですが、研究用の資料だけ
なく、スターの写真集や伝記など、
見て楽しく、読んで面白い本も沢
山揃えた、図書コーナーです。テ
レビ、パソコンも設置してありま
すし、広い開口部からは緑豊かな
庭園も眺められ、ゆつたりと過ご
していただけます。



鎌倉市川喜多映画記念館

【開館時間】

9:00~17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】

毎週月曜日、年末年始、展示替期間

(月曜が休日の場合、開館し、翌平日を閉館)

神奈川県鎌倉市雪の下2-2-12

Tel: 0467-23-2500 Fax: 0467-23-2503

ホームページ: <http://www.kamakura-kawakita.org/>

ところで、こ
存じの方も多い
のでは、と思い
ますが、川喜多
かしこ自身、フ
ェリス女学院の
卒業生です。一九二七年、研究科を卒業して社
会人になりました。そして母と妹たちとの生活
を支え、しかも大好きな映画の仕事一筋に進め
るようになったのは、在学中、フェリスの先生
方が、経済的に苦労しているかしこを励ましつ
づけ、英語や速記のスキルを身につけさせてく
ださったからにはかならないと、終生感謝して
おりました。



川喜多かしこ
(1927年研究科卒)

フェリスが、戦後、いろいろと難しい状況に
なった時、かしこも多くの同窓生の方々ととも
に母校のために尽力したようです。卒業して何
十年経ってもなお、フェリスへの愛と感謝を心
に抱いていたからに違いありません。
ですから、この「同窓生だより」は、川喜多
かしこから皆さまへの、「天国からのたより
」とお思いいただき、どうぞぜひ記念館へお出
掛けくださいませ。

りてらアーカイブ

りてらアーカイブ五回目は、糸川光樹先生にご登場いただきました。フェリスでは上代日本文学を「担当」されていましたが、その後、多彩なご活躍をされ、現在もなお銅版画に熱中されているそうです。



糸川 光樹 先生

まず年譜風に記しますと、私は、一九七三年に上代日本文学担当の国文科教員として着任し、一九八一年に海外に転出するまで、フェリスのお世話になりました。続いて、シンガポール国立大学日本研究学科の初代学科長を勤めて四年後に帰国、明治学院大学に新設された国際学部に就職し、二〇〇〇年に定年退職しました。以来、同大学の名誉教授という肩書ですが、今は少々異なる作業に熱中しています。それについては後述します。

昨年、フェリス当時の私のゼミ生から突然連絡があつて「先生の喜寿のお祝い」を企画中との知らせを受けました。喜寿(七十七歳)の自覚はまるで無かつた私ですが、よくまあ、私の年齢なんかを覚えていて下さったという感嘆も含めて、それは嬉しい驚きでした。当日八月三日には、歴代ゼミ生の四〇人ばかりが集まってくれました。後日、私は出席の皆さんに礼状を送りましたが、以下にその一部をご紹介します。

『万葉集』にこと寄せて、当日の
 気持を数首の歌に詠んだので見て下さい。現代語訳や評語も付けました。
 本文は「西本願寺本万葉集巻第廿二」に依りました。

文中の「本願寺」は「本願寺」の駄洒落。万葉集は巻廿までですから「巻廿二」は冗談です。続けて歌四首をならべました(二首は省略)。上部の「国歌大観番号」も冗談です。

★四五一九 比射妻留苗栗鼠奈都可思波
 奈之苑蕾育之日日乎於母倍婆

〔読み下し〕 膝萎ゆるフェリス懐かし
 花の園蕾育てし日々を想へば

〔語注〕 ○膝萎ゆる⇨フェリスにかかる
 枕詞のひとつ。他に「坂登る」「息喘
 (あへ)ぐ」「たぎたぎし」などの枕

詞もある。○笛栗鼠⇨フェリスの横
 て字。可愛らしい栗鼠(りす)が横

笛を吹いている様子が連想される。
 〔現代語訳〕 (険しい坂で登ると膝ががくがくする) フェリスが懐かしい。あの学園で花の蕾のような学生たちを育てた頃のことを思うと。

〔評語〕「花の園」は大伴家持を想起させるが、歌は家持歌の品格に遠く及ばない。

★四五二〇 久米蟬乃将見将見蟬乃夏蟬
 乃熟古羈道者将所忘八方

〔読み下し〕 久米ゼミのみんみん蟬の
 夏蟬の暑き旅路は忘れえぬやも

〔語注〕 ○みんみん蟬⇨無邪気でかしましい例え。○夏蟬の⇨ここまで

「暑き」を導く序。○旅路⇨筑波山・大和・吉野・出雲・大宰府など

へのゼミ旅行を言う。
 〔現代語訳〕 糸川ゼミの、みんみん蟬のような連中を連れて歩いた、あの暑かつたゼミ旅行を忘れることが出来るだろうか、いや、出来ない。

〔評語〕「」の反復が伸びやかな階調を成している。芭蕉は「旅に病んで夢は枯野をかけめぐると詠んだが、この日、私の枯野には花が咲き乱れていました。

さて、私の近況ですが、続けて来た上代文学関係の研究を纏めて、二〇〇七年に『下代日本の文学と時間』(笠間書院)という本を出版しました。続いて昨年「『明暗ある終章』(論創社)を出しました。後者は小説で、夏目漱石の未完の作品「明暗」を、私なりの空想で完結させたものです。挿絵も自分で描いたのでしたが、今は銅版画など「お絵かき」に夢中になっています。次なる夢は、万葉集ではありませんが、全

二十巻の自分の詩画集を編むことです。でも、なにしろ「喜寿」ですから、たぶん未完に終わるでしょうが。

つい、大風呂敷を広げましたが、そろそろ畳まなければなりません。唐草模様のこの風呂敷は、あちらこちらで広げたためか、色褪せ擦り切れて薄くなってしまいました。畳むと片手の拳に入る程です。そのように、私も、髪は色褪せて薄く、筋骨も擦り切れて瘦せましたが、でもまだ、あの、胸の裏のフェリス坂ぐらいいは登れそうです。では、皆さん、ご機嫌よう。

行事予定

【大学祭】
 十一月六日(土)・七日(日)
 緑園キャンパス

【二四〇周年クリスマス礼拝】
 十二月十八日(土)

パシフィコ横浜 国立大ホール
 ※入場券が必要です。事前に取りたい。
 同窓会室にお申し込みください。

【二〇二一年度総会】
 二〇二一年四月二十九日(金・祝)

りてら同窓会室

開室 毎週火曜・木曜日 10時〜16時
 (大学の春・夏・冬期休暇中は閉室)
 〒二四五-一八六五〇

住所 横浜市泉区緑園四一五-三
 フェリス女学院大学内

電話 〇四五-一八二-一八六九二

FAX 〇四五-一八一-四八九六六

メールアドレス iteta@uranus.dti.ne.jp
 村藤 由美 (74 J)

事務担当 内藤 由美 (87 J)

りべるて

Vol. 22
家政科同窓会

皆様と共に

会長 金子 和恵



りべるて会員の皆様、お健やかに過ごしていらつしゃいますか。

今年も会報をお届けできますこと、寄稿並びに編集にご尽力くださいました方々のお陰と感謝申し上げます。

昨年、大学のお力添えで家政科記念館の全面改修をしていただきました。空調、システムキッチン、その他細部にわたり気を配っていただき、快適に活動ができるようになりました。

私共も更に記念館を活用すべく、学

院・大学の企画に協力する取り組みをいたしております。昨年、学院と同窓会との会議の場として活用していただいたり、二月には、学院維持協力会主催による「男性のための料理教室」に家政科記念館をご利用いただきました。記念館においていただき、りべるてを学院、大学の皆様方に更に理解していただきたいと願っております。

日々の活動では、転居をされたり、住居表示変更で住所不明となられる会員が多くいらつしゃり、住所管理が重要な要素である同窓会としては苦心しております。お友達で郵便物の届かなくなった方がいらつしゃいましたら、りべるてまでご連絡ください。宜しくお願いたします。

各種講習会も好評をいただいております。おひとりりで参加されても、やはり同窓生はすぐに打ち解けて皆様楽しく過ごされていらつしゃいます。まだ参加された事のない方もどうぞ、はじめの一步“を踏み出してみてください。

十一月、フェリス祭と同時に行うバザーは皆様からの献品に支えられております。当日ご持参いただいても結構ですので、山手に遊びにいらしてください。

私は、同窓会はいつでも門戸を開いて活動しなければならぬと思っています。こちらからは、会報で活動を知っていただき、クリスマスカードで学生時代のクリスマス礼拝を思い出していただけばと思っております。

全国に、海外にお住まいの会員の皆様、いつかまた、山手に行きたいと思っただけのように、活動する事が大切だと思っております。

今年の総会に第一回卒業生がご出席になりました。“元気なうちにもう一度来たかった”とおっしゃってくださいました。とてもうれしいことです。

どうぞ皆様も、山手にいらしてください。毎週木曜日は、家政科記念館を開いておりますので、是非お立ち寄りください。お待ちしております。



二〇一〇年度役員

会長	金子 和恵	D 51
副会長	村本とよ子	D 35
書記	小倉由紀子	D 43
書記	北村 周子	D 43
書記	遠藤木美子	D 45
会計	石井 克子	D 43
総務	柴田 千鶴	D 61
総務	近藤 誠子	D 44
総務	鈴木 初枝	D 44
総務	岩江眞理子	D 51
総務	佐藤 昌子	D 57
会計監査	郷 佑美	D 43
会計監査	浅見 治美	D 45



活躍する同窓生



一七八番地アヒル坂

D 35 比企 寿美子



「活躍する同窓生」というコーナーに何か書くように申しつかり、果たして自分は今、活躍しているかと自問する。一日の殆どをコンピュータの前に座り、午後は重い腰を上げワン公に散歩に連れて行って貰って、時々ま国会図書館へ資料を探しに出かける。これでは活躍しているとは言えない。

半世紀ほど前、活気に充ちてフェリスに通い、元町を歩き周り、年に幾度かニュージャランドでのダンスパーティーで、ピンヒールを履いて活き活きと躍った。そう、あの頃は確かに活躍していたと懐かしい。

元町からフェリスへの長い階段の路を、ある非常勤講師の先生が命名された。いわく「アヒル坂。君たちがお尻突き出して登ってくるから」。

今年四月、卒業謝恩会も行われた古戦場のニュージャランドホテル旧館に、古稀を迎えたクラスメート三十余人が集った。半世

紀ぶりの再会だったが、よく見るとそれぞれ面影が残り、むかし話が大きいに弾んだ。ここまで来たからは山手へ行くと言うことになった。「アヒル坂、歩いて登るわ」と、今なお達者な人々を残し、早々とタクシーを拾って懐かしい校門で降りる。胸に溢れる郷愁で校舎を見上げ門の中に歩を進めようとする、こんなバアサマ四人が悪さをするはずはないと思うのだが、警備員さんに厳しく止められた。世の中は悪人が多すぎるのか、せめて玄関前で写真だけでも頼んでも、校門外からの撮影しか許して貰えず、すぐごと退散するしかなかった。

アヒル坂を登ってくるのは通学生たちで、私達はカソリック教会裏に住む寮生だった。何時もお腹を空かせていて、トンネル手前のみつぽ、ジャーマンベーカー、喜久屋へ行くのを贅沢な楽しみとした。横浜の女子大に娘を出す親許は総じてゆとりがあったらうが、寮生はクレジットカードも無い時代、仕送りの中でのやりくりで、儉約を学んだ。後に主婦として家計を預かる身になると、この経験が生きた。

栄養学に育児学、生理学に調理、洋裁と家庭を持ち初めて知る尊い勉強であった。私は嫁して夫の大家族と同居し、多い時は総計十二人の賄いに明け暮れたが、大学や寮で学んだ全てをそこで実践できたと思う。

二人の子供が学校に行き手が離れると、絵を描き、製菓や刺繍とお稽古事を楽しんだが、ちょうどその頃、ある女性作家の「人は、学ぶか、働くか、奉仕すること活きる」という言葉に出遭った。夫に相談し

て「学ぶ」を選び、慶應義塾大学の聴講生となって五年間通った。だが年々学費が高むので、月謝の安いドイツ語学校に行くことにして、四十歳からこれ十五年ほどゲーテ・インスティテュートで学んだ。こう書くも随分エラそうだが、けてそうではなく、実を言えば大家族のための台所でのゴキブリ的生活から、ひとときの逃避を図る、貴重な「私の時間」を探しての通学であっただけだ。

五十歳で、独訳の仕事を手伝った本の紹介文を日本経済新聞に書いたのが、ノンフィクション作家である加藤恭子先生の目にとまり、「書くこと」を勧められた。台所からコンピュータ前へ、私の仕事にエポックが訪れた。

以来、せっせとエッセイを書いている。文藝春秋から毎年「ベストエッセイ集」が出版されているが、お陰様でこれまで七回これに選んで頂き、今年も八月出版の本年度ベストエッセイ集に選出された、先週ご通知を頂いた。単行本は、ほぼ二年に一冊出し、他に共同執筆の本もある。しかし、物を書くことは「夕鶴物語」のお通が、自分の羽を抜いて布を紡ぐのに似て苦しい。この所増えた講演の機会も、書く以上の体力を準備に要する。何時までこの仕事を続けるのかと、溜め息をつく事が最近多くなった。(ノンフィクション作家)

【著書】

- 「癌を病む人・癒す人」 中公新書
- 「航跡」「たった一人の卒業式」 中央公論新社
- 「アインシュタインからの墓碑銘」 出窓社
- 「続・私は日本のことが好き」 出窓社
- 「ラジオ深夜便」 NHK出版 他

旧家政科校舎見学会

昭和40年代まで授業で使われた旧家政科校舎（現山手二号館）をもう一度訪ねてみませんか。現在は、学院本部として使用されていますが、老朽化しています。

そこで、当時授業をされていた友井先生にご案内をさせていただくことにいたしました。見学後、家政科記念館で軽食の用意をしております。

どうぞ、お友達とご一緒にご参加くださいませ。

- 日時：十月二日（土）午前十一時
- 場所：フェリス女学院中高正門前
- 会費：五〇〇円
- 事前に、電話で申し込みをしてください。

行事予定

- 十一月二日（火）・三日（水・祝）
フェリス祭参加バザー
- 十一月二十五日（木）
大森先生お菓子教室
- 十二月十八日（土）
フェリス女学院創立一四〇周年
記念クリスマス礼拝

二〇二一年

- 一月十九日（水）
大村先生ステンドグラス教室
- 二月 矢吹先生北欧絵織物教室

横浜海岸散歩

学生の頃、横浜といえば、港・山手・元町・中華街でした。

今回は、港に沿って歩いてみました。
 昨年リニューアルしたマリントワーは、みなとみらい線「元町・中華街駅」A4出口から直ぐです。イタリアンカフェやレストランも併設され、展望台へはエレベーターで60秒程です。まずは学校が見えるかしら……と。6号館に、中高の校舎も見えました。地上100mですから、お天気が良ければ新宿、東京タワー、東京デイズニールゾート、房総半島、三浦半島、富士山まで見えるそうです。眼下に広がる横浜港、氷川丸、行き交う船が小さく見えます。午後10時まで入場できるので、素晴らしい夜景を見ることが出来ます。



マリントワーを後にして、いよいよ「開港の道」を歩いてみます。山下公園は、関東大震災後の復旧事業の一環として被災した瓦礫などで埋め立てられた公園です。氷川丸に、横浜駅東口から出るシーバスの発着場もあり、今は木々の緑と海の青がすがすがしい、散策するのが楽しい公園です。また、晩秋イチョウが色付いた頃は風景が一変し、どこか外国に来たような感じがします。

昨年整備された象の鼻パークを目指し、「山下臨港線プロムナード」を歩き始めます。開港広場と大栈橋を繋ぐ道路を越え進むと、象の鼻パークが見えてきます。151年前、横浜が開港すると、東波止場と西波止場

が作られました。その東波止場が少しずつ形を変え、現在の象の鼻の原型となりました。整備中に発見された、開港から明治にかけての遺稿(港の貨物線の軌道や転車台、石積の防波堤など)を、転車台強化ガラスの下に見ることが出来ます。夜は照明施設となるスクリーンパネルが弧を描くように配置されています。パネルの側面には、みなとを造った偉人達の紹介も書かれています。横浜スタジアム2・5個分の園内には、横浜港を一望できる「開港の丘」が緑の芝生で広がります。一列に並ぶ石は、当時護岸で使われていた物で、座ることも出来ます。象の鼻テラスはひと休みに利用できます。看板メニューは、ゾウノハナソフクリームと横濱ドック。横濱ドックには横浜の野菜とワインナー、清水屋ケチャップを使っているそうです。

更に、進んで行くと、左手に横浜税関「クイーンズタワー」が見えてきます。右手前方には、赤レンガ倉庫を中心とした赤レンガパークがあります。赤レンガ倉庫も歴史を感じさせる佇まいが印象的です。

このまま道なりに、みなとみらいまで。時には潮の香りを楽しみながらのお散歩は心地よい疲労感を感じました。

今も発展を続ける横浜、古くて新しい街。大好きな街。

献品のお願ひ

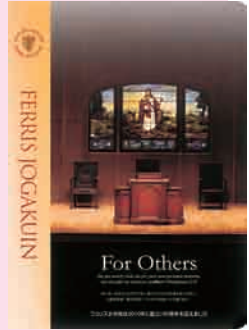
フェリス祭バザーのためにご家庭で利用されな
 い未使用の日用雑貨品や贈答品等がございましたら、献品くださますようお願い申し上げます。尚、食料品、衣類は除外させていただきます。
 バザー販売による収益は、全額フェリス女学院維持協力会に寄付させていただきます。

●受付期間…十一月一日まで
 毎週木曜日、午前十一時～午後三時

●受付場所…家政科記念館
 〒二三一―八七九〇 横浜市中区山手六八
 家政科同窓会りべるて宛
 郵送・宅配便でお送りいただいても結構です。

フェリスグッズ

- シルバー加工
カードケース 2,800円
- エプロン(黒・赤・茶)
各2,000円
- 140周年記念ファイル
(2枚組) 200円



《グッズ申し込み先》

氏名・卒年・住所(郵便番号)・電話・商品名・個数を記入の上、「家政科同窓会りべるて」まで
 TEL・FAX (045) 662-0750

友井ゆり子先生のお料理教室



初夏の爽やかな風の吹く山手の丘で、りべるて主宰の友井ゆり子先生のお料理教室に参加させていただきました。

今回、先生が教えてくださったのは、料理の間がかけられない忙しい時にも美味しい料理を作る調理法です。メインディッシュと付け合せまでをフライパン一つで仕上げしてしまう「チキンのスカロッピーネ」、炊飯器を使った「サフランライス」を作りました。鶏肉を肉たたきで2倍にのばせば肉は柔らかくなる上に火通りも早く、調理時間の短縮に。フライパン一つで付け合せまで調理するので洗い物も最小限、能率を考えたクイック料理です。赤ワイン、バター、(バルサミコ酢)を仕上げに使うことで、レストランのメインディッシュのような贅沢さを感じさせる大変美味しい一品になりました。

なにかと慌しく過ごすことの多い日々であっても、食事は大切です。先生の料理への思いと現代の生活に即した調理法のアドバイスは、私達の生活を豊かなものにしてくださいます。心より感謝申し上げます。

(大森育子・D52)

大村先生のステンドグラス教室

1月20日、大村先生のステンドグラス教室が開催されました。

毎回、先生には素敵なステンドグラスの作品をお教えいただきありがとうございます。今回は、季節にあわせた和のテイストで、ひな人形の製作でした。

ステンドグラスでひな人形は……と思いましたが、先生がきれいにカットして下さった色のガラスを組み、ハンドゴテでつないでゆくと、扇面の上に男びな・女びなの立びなが徐々に形になり、仲よく並んだ姿はとても可愛らしく、思わずにつこりとしてしまいました。

今年は、世界にたったひとつのステンドグラスのひな人形と一緒に飾って、桃の節句を祝いました。

今回は、「月にうさぎ」を教えてください。是非、お出掛け下さい。



2010年度予算

2010年4月29日

科目	金額(円)
消耗品費 (事務用)	120,000
(その他)	10,000
	110,000
旅費・交通費	300,000
通信・運搬費 (郵便料金)	1,020,000
(宅急便)	1,010,000
	10,000
印刷・製本費	900,000
報酬・手数料	2,000
会議・会合費	100,000
諸会費	70,000
渉外費	130,000
雑費	70,000
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,712,000

会長 金子和恵 (印)

会計 石井克子 (印)

柴田千鶴 (印)

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。 2010年4月15日

監査 郷 佑美 (印)

浅見 治美 (印)

2009年度決算報告書

2009年4月1日～2010年3月31日

科目	金額(円)
受取利息	6,843
事業費(グッズ販売、バザー)	602,295
名簿代金	0
寄付金	0
小計	609,138
前年度繰越金	12,220,861
合計	12,829,999
寄付金	231,169
交際費	30,000
事業費(グッズ)	385,580
小計	646,749
次年度繰越金	12,183,250
合計	12,829,999

繰越金明細	金額(円)
定期貯金(株)ゆうちょ銀行	2,641,000
定期貯金(同上)	3,012,000
通常貯金(同上)	1,468,015
通常貯金(同上)	691,991
普通預金(横浜銀行)	370,244
定期預金(横浜銀行)	4,000,000
合計	12,183,250

2009年度運営費報告書

2009年4月1日～2010年3月31日

科目	金額(円)
基金運営費(学院より)	2,249,925
合計	2,249,925
消耗品費	57,534
旅費交通費	295,070
通信・運搬費	882,301
印刷製本費	836,117
報酬手数料	1,025
会議費	50,883
諸会費	50,000
渉外費	13,202
雑費	63,793
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,249,925
収入-支出	0

お願い

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が、増えています。変更がありましたら、りべるて宛、お知らせください。〇四五五六二一〇七五〇



同窓会支部だより

東京支部

最近の行事からご報告を始めたいと思います。三月に「横浜山手めぐり」を企画し、フェリス女学院周辺を散策いたしました。カイパー記念講堂では壇上、舞台裏、屋上にも上らせて頂きました。次に、外装改修が竣工した、レーモンド氏設計の10号館を見学し、歴史の重みを感じました。東京支部にとって大切な催しは総会です。昨秋、浜松町東京会館にて、オールフェリス43名をお迎えして開催されました。中高、大学各科の同窓会長にもご出席いただき、嬉しく存じました。

礼拝、小松田事務局長からのご報告、議事と無事に終わり、午後はフェリス中卒、芸大を経て数々のコンクールに入賞された新鋭、石岡千弘さんのピアノ演奏に魅了されました。十一月、宮坂学長による読書会、芥川龍之介作品の読みの深さに引き込まれました。

今年一月は初春歌舞伎観劇、現在の建物は改築されるので、感慨深い思いがいたしました。今年の総会は十月八日に、東京会館で開かれます。午後の講演は本大学、英文学科教授の前田絢子先生に、エルヴィス・プレスリーのお話をお願いいたしました。若い頃に戻って、楽しい時間を過ごしたいと思えます。会員以外の方もどうぞご参加くださいますよう、お待ち申し上げております。

《連絡先》

大川清子 03-3332-12687

高間美鈴 03-3775-6279

関西支部

オールフェリス関西支部では、毎年11月の第2水曜日を同窓会・総会の日と決めています。大阪、神戸、京都を一巡する形で行われており、昨年は大阪城公園に隣接するバル・法円坂で11月11日(水) 11時から41名の出席者をもって開催されました。

当日の天気だけが気がかりでしたが、天気予報は見事的中し朝からどしゃぶりの雨でした。足元の悪い中の道中はお気の毒で大変だな…とか、晴れていたなら紅葉の美しい大阪城公園を散策できたのに…とか、同窓会の成功は半分以上天気に左右されるのでは…の思いで心がかき乱されておりまして。案の定、各方面から電車の遅れやストップしているとのメールが入り、3〜4名が揃わないまま会を進行せざるをえませんでした。清水支部長のご挨拶の中で『今朝、テレビで言っていました。11月11日は、イイヒ・イイヒだぞうです。』との言葉もむなしく頭の上を通り抜けていくようでした。それでも礼拝が終わり、会食の頃にやると全員が揃うと、その後は美味しいお食事を楽しみながら久しぶりの再会を楽しみ、初めての参加の方もすぐに打ち解けて和やかな同窓会となりました。帰る頃には小雨になり、楽しかったとの声を掛けてくださる方も多く、幹事一同胸をなでおろしました。ちなみに同窓会に初めて参加された方は11名でした。天気に勝るイイヒとなった同窓会を盛り立ててくださった皆様から感謝した次第です。

関西支部幹事 岩崎直

西南支部

同窓生の皆様、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

私共西南支部は、白菊会、りべるで、りてら、Fグループ等々、その科その学部を越えて、又その時代を越えて、お交わりができますこと、感謝でございます。

昨年の同窓会総会は、十月十七日にフェリス女学院大学学長の宮坂寛先生をお迎えして、福岡市内にあります「ラ・プロバンス」という素敵なお宿で開催いたしました。先生のお話しの中で、想像力を豊かに持つ事や、物を読み取る力、その感覚を研ぎ続ける事の重要性等々、心にとめて新鮮に受け止めることができ、喜びでした。又、ハンドベルの演奏もあり、その響きに癒しの時を持つことができました。

久しぶりにお会いする三十数名の皆様のお喋りがとても華やかでした。お世話になりました幹事の国文科の菊竹美枝さん、杉野由美子さん、本当に感謝でした。

今年度の当番幹事は、英文科の方々にお世話になります。秋には、同窓会総会ができますよう、皆様の暖かいご協力に感謝しつつ、準備を始めております。

皆様どうぞお誘い合わせの上、ご出席くださいますように、又お会いできますことを楽しみにお待ちしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

西南支部長 伊藤和子(音楽科24期生)

白菊会より

大学同窓会の皆さま、お健やかで過ごしのことと存じます。

いつも私ども白菊会の活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

本年六月に役員が交代し、顔ぶれが少し変わりましたのでご報告申し上げます。

- 会長 服部ひろ子
- 副会長 衛藤 怜子
- 光 恵子
- 相原 伸子
- 書記 長谷川祐子 石渡 貴子
- 会計 間室 徳子 折茂紀代子
- 会計監査 秋山 陽子 盛 佳子

以上、二〇一三年五月までの任期ですので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、三年前、白菊会一〇〇年を記念してカイパー記念講堂にパイプオルガンを寄贈することにいたしました。とても多くの方々のお心をいただき、母校創立一四〇年の今年、完成を迎えることとなりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

整音作業に時間がかかると思いますが、秋には朝の礼拝でオルガンの響きを聴くことができる予定です。工事の経過はホームページにも載せております。中高のページから入れますので、どうぞご覧ください。

最後になりましたが、皆さまのご活躍をお祈り申し上げます。

白菊会会長 服部ひろ子

●同窓会は外国にもあります

- ニューヨーク事務所
Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840
- ハワイ事務所
Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579
- カリフォルニア事務所
Mrs. Junko Yokota
3117 Mabury Rd. San Jose, CA. 95127 U.S.A.
TEL 408-923-4632 FAX 408-729-5669

クリスマス礼拝のご案内

《日時》

2010年12月18日(土)
午前 10:30~12:00

《場所》

パシフィコ横浜
国立大ホール

2009年度 フェリス女学院同窓会連絡会 会計報告
(2009年4月1日~2010年3月31日) (単位 円)

前年度繰越金	1,055,810
収入	
全同窓会維持費 (50,000×4)	200,000
利息	351
小計	200,351
合計	1,256,161
支出	
各支部(東京、西南、関西)への祝儀(含郵送料)	60,320
クリスマス礼拝関連費	81,330
慶弔費(日能百合子様、気仙一様お花料)(含郵送料)	150,590
備品購入	0
合計	292,240
翌年度繰越金	963,921

翌年度繰越金は、963,921円です。
以上、ご報告申し上げます。

2010年5月 会計 Fグループ 小村 園子

本年は学院主催のクリスマス礼拝に参加します。

警備上、招待状が必要です。

ご希望の方は、12月2日までに、各同窓会へ電話又はFaxにて
お申し込みください。招待状をお送りします。

クリスマス礼拝(2009年) 献金先

献金総額	91,748円
日本ユニセフ協会	22,937円
日本キリスト教海外医療協力会	22,937円
難民を助ける会	22,937円
社会福祉法人日本医療伝道会	22,937円

大学から

創立一四〇周年
記念事業のお知らせ

一八七〇年(明治3年)にメアリー・E・キターが、日本で初めての女子の教育機関を創立しました。

それから一四〇年。フェリス女学院は、二〇一〇年に創立一四〇周年を迎えました。大学では、学院創立一四〇周年を記念し、年間を通して様々な記念事業を展開しています。記念事業全体を貫くテーマは、「平和・女性・環境」です。For Others. の視点から、今日的な課題を様々な形で取り上げています。

創立記念日の六月一日に、朝日新聞に全面広告を掲載し、大学から世界に向けてコミュニケーションを発信しました。発信元には、フェリス女学院大学(文学部・音楽学部・国際交流学部)、フェリス女学院大学校友会、フェリス女学院大学同窓会(りてら、Fグループ、りべるで)、フェリス女学院大学奨学会の四者が名を連ねています。この四者がフェリス女学院大学を支えているからです。



朝日新聞への全面広告(6月1日付)

テレビでは、六月五日にBS朝日「GREAT ACADEMY」でフェリスの歴史

史と未来への展望を紹介する特別番組が放映されました。

大学内では、二〇一〇年度前期に創立一四〇周年記念科目(学長提案)「フェリス女学院で学ぶ」ということ For Others とその実践としての学問」を開講しています。この科目は、大学の教員だけではなく、田部井中高校長や本学にゆかりのある研究者、社会で活躍している卒業生、さらに松沢神奈川県知事を招き、様々な観点からフェリス女学院について取り上げてもらうことで、学生に「For Others.」の意味を自分のものとして考えてもらうという試みです。

さらに、日本文学国際会議、各学部・学科や学会のシンポジウム、講演会とのタイアップ、学外の学会の招致などを行っています。今後予定されている主な行事は、次のとおりです。

- 私立大学環境保全協議会 第25回夏期研修研究会(8月5・6日)
- 日本文学国際会議(11月19・20日)
- 「山手の丘音楽コンクール」(本選は10月30日・11月3日)

また、12月18日(土)には、パシフィコ横浜において、学生、生徒、父母、卒業生、教職員らが一堂に会して学院クリスマス礼拝が盛大に行われます。詳細はP3をご覧ください。二〇一〇年の一年間、皆様の学生時代を思い起こしつつ、一四〇周年をお覚えください。

一四〇周年を記念した取組の詳細は、大学ホームページの特設サイトでお知らせしています。ぜひご覧ください。

【大学HP一四〇周年記念サイト】
* <http://www.ferris.ac.jp/f140th/index.html>

サークル紹介

ギリシア哲学の会

指導 岡野昌雄先生
日時 第三水曜日 1時半～3時
場所 中高同窓会室
連絡先 光恵子
〇四五(八九三)二〇二二

聖書を学ぶ会

お話し 岡野昌雄先生
日時 第二水曜日 10時半～12時
場所 中高同窓会室
連絡先 杉浦昌子(S26)
〇四五(三三五)一一〇五

世界史講座—キリスト教と世界史—

講師 棟居 洋先生
日時 第三水曜日 10時半～12時半
場所 中高同窓会室
連絡先 数原安子(S48)
〇四五(四三三)五六九九

英語読書会

指導 吉野洋子先生
日時 第三水曜日 10時半～12時
場所 中高同窓会室
連絡先 大島 和子
〇三(三三三)四一〇七三三〇

書道サークル

初心者の方でも気軽に入会できます。
日時 第四水曜日 1時～4時
場所 大学(山手)六号館別館二階
連絡先 望月幸子(S56E)
〇三(三三七)七九一八五

ダイジェクグループ

指導 田中 順先生
日時 月二回水曜日 1時半～3時
場所 中高同窓会室
連絡先 鈴木道子(S41)
〇四五(九三四)七六〇三



大学音楽学部演奏会のお知らせ

- ◆12月17日(金) 第31回クリスマスコンサート フェリスホール
曲目 J.S.バッハ：ミサ曲ト長調より 'Domine deus'
A.コレッリ：クリスマス協奏曲 他
出演 指揮：小泉ひろし
開演 19：00
- ◆2011年1月14日(金) 大学院音楽学部・音楽研究科 横浜みなとみらい大ホール
オーケストラ共演の夕べ ～ニューイヤーコンサート～
開演 19：00
- ◆3月12日(土) 第20回ヘンデル「メサイヤ」 神奈川県立音楽堂
出演 指揮：小泉ひろし
オーケストラ：フェリス室内管弦楽団
合唱：フェリス女学院大学音楽学部合唱団
開演 18：00
お問い合わせ：演奏委員会室 TEL 045-681-5189

Fグループ演奏会のお知らせ

- ◆9月23日(木・祝) ジョイント・コンサート フェリスホール
開演 15：00 ￥1,000
ピアノ、声楽、ヴァイオリン、オルガンによるコンサート
- ◆10月29日(金) 研修会 フェリスホール
～シューベルト作品のお話しと演奏～
講師：辛島輝治(ピアニスト)
出演：辛島仔緒子(ピアニスト)、芳野靖夫(ヴォイトン)
開演 17：00 ￥1,000
- ◆11月11日(木) ティータイムコンサート
フェリス女学院大学山手6号館
内容：カンテレ演奏
講師：桑島実穂(28回)
開演 14：00 ￥1,000
お問い合わせ：Fグループ事務局 TEL & FAX 045-681-6740

永眠者(お届けのあった方)

- 短大名譽教授
吉田陽太郎先生 二〇一〇・四・十一
原 恵先生 二〇〇九・七
平島 正朗先生 二〇〇九・八・十
安藤 友侯先生 二〇〇九・九・六
気仙 三三先生 二〇〇九・十一・二十四
- Fグループ
細井 紀子姉 (1M) 二〇〇九・一・十四
福井 淑姉 (10M) 二〇〇九・八・二十五
竹内 千鶴姉 (27M) 二〇〇九・八・二十五
- りてら
阿部 英子姉 (63E) 二〇〇七・四・四
鶴沢 昌子姉 (79J) 二〇〇七・九・十七
中井 住江姉 (65E) 二〇〇八・八・四
渡部 芳枝姉 (74E) 二〇〇八・九
中野 和美姉 (74E) 二〇〇九・一・三
尾崎志奈乃姉 (00S) 二〇〇九・二
栗国 富子姉 (65E) 二〇〇九・二・十二
藤田 洋子姉 (90J) 二〇〇九・二・二十七
Kazuko Peitless姉 (63E) 二〇〇九・三・四
西 寛子姉 (70E) 二〇〇九・四・八
水上 文子姉 (63E) 二〇〇九・五・四
湯川由紀子姉 (60E) 二〇〇九・五・二十三
西口 好江姉 (70J) 二〇〇九・五・二十八
島 敏子姉 (61E) 二〇〇九・七・二十五
新元 伸子姉 (58E) 二〇〇九・九・二十七
関根美恵子姉 (64E) 二〇一〇・一・六
- りべるて
布井 一慧姉 (D 39) 二〇〇七・八・五
神部 淑子姉 (D 28) 二〇〇九
勝田 公子姉 (D 33) 二〇〇九
小田 怜子姉 (D 35) 二〇〇九・二・二十
山田切陽子姉 (D 54) 二〇〇九・四・二十八
佐藤 一美姉 (D 57) 二〇〇九・十・二十一
山内 順子姉 (D 39) 二〇一〇・三・十七
- 天来の恩めをお祈りいたします。

資料室からのお願い

フェリス女学院は、創立150年にむけて「フェリス女学院百五十年史編纂委員会」を組織し、学院に関する資料の収集、整理公開をめざしています。

学院の歴史や学生生活に関わる資料をお持ちでしたら、資料室までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

●フェリス女学院資料室
TEL: 045-662-4411
E-mail: shiryo@ferris.ac.jp

大学祭 FERRIS FESTIVAL 2010

●テーマ: Ferris' Present
〜Precious Time for You〜

開催日時: 11月6日(土)・7日(日)
《両日》10:00～20:00

開催場所: 緑園キャンパス

編集後記

暑い夏の日には「会報八号」を無事お手元にお届けできて「ほっ」としています。よかったです。一人でも多くの方に目を通して頂ければ幸いです。ご意見をお聞かせください。



フェリス女学院大学同窓会会報

二〇一〇年八月発行
担当: 家政科同窓会りべるて
〇四五(六六二)〇七五〇
りてら
〇四五(八一)二八六九二
Fグループ 〇四五(六八一)六七四〇